

セイノスーパーエクスプレス、群馬県嬭恋村でドローンによる実証実験を実施 災害時の輸送手段として活用し、地域の孤立防止を目指す

セイノスーパーエクスプレス株式会社（SSX）（本社：東京都江東区、代表取締役社長：平井克昌）は、株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド、群馬県嬭恋村と連携し、自然災害発生時の BCP（事業継続計画）対策として、群馬県嬭恋村においてドローンを活用した実証実験を 2026 年 10 月 12 日に実施いたしました。

本実証実験では、災害などにより道路が寸断され、陸上輸送が困難となった場合を想定し、ドローンによる物資輸送を検証しました。また、ドローンに搭載したカメラによる上空からの撮影・観測も行い、災害対策や獣害対策への活用可能性について検証しました。

自然災害による物流網の寸断に備えて

近年、全国各地で自然災害が発生し、道路や橋梁などの交通インフラが被災することで、地域の物流が滞るリスクが高まっています。

国土交通省によると、2024 年には全国 45 都道府県で 1,433 件の土砂災害が発生しており、直近 10 年（平成 26 年～令和 5 年）の平均発生件数は 1,499 件となっています。

嬭恋村においても、2019 年の令和元年東日本台風により道路が被災し、国道 144 号の嬭恋村大笹～田代間では長期間にわたり全面通行止めとなりました。復旧工事を経て、2021 年 11 月に全面開通しています。

こうした自然災害による交通網の寸断に備えるため、SSX が現在輸送業務を行っている万座地区を対象に、災害時の代替輸送手段としてドローンを活用した実証実験を実施しました。

万座地区への輸配送をドローンで補完

今回の実証実験では、当社営業所を起点として万座地区を結ぶルートを対象に、ドローンによる物資輸送を行いました。

通常時の陸上輸送に加え、自然災害によって道路が通行できなくなった場合にもドローンを活用することで、陸上輸送に代わる輸送手段を確保し、地域への物資供給を継続できる体制の構築を目指します。

これにより、災害によって道路が寸断された場合でも、必要な物資を地域へ届けることが可能となり、地域の孤立防止につながることが期待されます。

上空からの撮影・観測による災害・獣害対策

今回の実証実験では、物資輸送に加え、ドローンに搭載したカメラを活用した上空からの撮影・観測も行いました。

道路や橋梁、斜面など、地上から確認することが難しい場所を上空から撮影することで、災害発生時の被害状況の確認や、災害リスクの早期把握への活用可能性を検証しました。

セイノスーパーエクスプレス株式会社

〒135-0053

東京都江東区辰巳 3 丁目 10 番 23 号

ウェブサイト ; <https://www.seino.co.jp/ssx/>

～リリースに関するお問い合わせ～

電話番号 ; 050-5292-3161

メールアドレス ; ssx0413@ssx.seino.co.jp

担当 ; 広報課 中村



また、野生鳥獣による被害も全国的な課題となっています。農林水産省によると、2024 年度の全国の野生鳥獣による農作物被害額は 188 億円で、前年度から 24 億円増加しています。

今後は、ドローンによる上空からの観測を活用し、クマやシカなどの獣類の生息・出没状況を把握することで、獣害対策への活用についても検討してまいります。

今後は、今回の実証実験で得られた知見をもとに、災害時の物資輸配送に加え、上空からの撮影・観測を組み合わせることで、自然災害のリスクや被害状況、獣類の出没状況などの早期把握につなげ、地域住民の安全確保に役立つ仕組みづくりを進めてまいります。



セイノスーパーエクスプレス株式会社

〒135-0053

東京都江東区辰巳3丁目10番23号

ウェブサイト ; <https://www.seino.co.jp/ssx/>

～リリースに関するお問い合わせ～

電話番号 ; 050-5292-3161

メールアドレス ; ssx0413@ssx.seino.co.jp

担当 ; 広報課 中村

